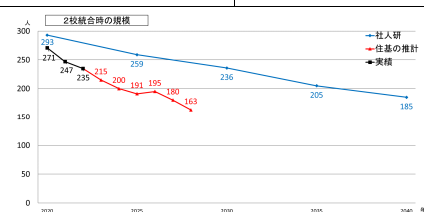


下新城小と金足西小の校舎等に関する比較検討について

No.	項目	下新城小	金足西小	教育委員会の見解	
1	校舎床面積	1階	約1,121㎡	約1,097㎡	どちらの校舎を使用しても問題はない。
		2階	約957㎡	約998㎡	
		3階	約610㎡	約998㎡	
2	体育館面積	約914㎡	約794㎡	どちらの校舎を使用しても問題はない。	
3	校舎敷地面積	約5,983㎡	約11,711㎡	金足西小の方が校舎敷地が広いが、どちらの校舎を使用しても問題はない。	
4	グラウンド面積	約14,764㎡	約13,856㎡	どちらの校舎を使用しても問題はない。	
5	校舎建築年度	昭和54年（築43年）	昭和53年（築44年）	どちらの校舎も耐震補強工事は終了しており、今後も十分に使用可能であるため、現時点で、建て替える計画はない。 ※協議の中で、「下新城小の校舎が傾いている」という意見があったが、教育委員会総務課で現場を確認した結果、校舎の傾きは見られなかった。	
6	給食調理場	有（金足西小、秋田北中へ）	無（下新城小から）	現在、金足西小には調理場がないため、下新城小から運搬している。	
7	プール保有	○	○	どちらの校舎を使用しても問題はない。 （両校とも、現在も授業で活用している）	
8	避難場所	下新城小学校 （体育館、グラウンド）	金足西小学校 （体育館、グラウンド）	どちらの学校も指定緊急避難場所であり、廃校後も秋田市所管の場合は継続である。	
9	海拔	約12.8m	約15.9m	水害ハザードマップでは、下新城小については、学区や現在想定しているスクールバス運行ルートの一部が浸水区域（3m未満）となっている。 近年、浸水により休校等の対応をした実績はないが、通学にあたっては、浸水時の情報を共有し、対応を検討する必要がある。	
10	学区に居住する児童	166名	73名	金足西小では、学区内に居住している児童は73名であるが、実際には138名の児童が在籍している。	
11	在籍児童数	97名	138名	これは、下新城小学区で指定変更許可地域である下新城中野地区、下新城長岡地区から、66名の児童が、路線バス（保護者負担）を利用して金足西小へ通学していることが主な要因となっている。	
12	路線バス	運行なし	秋田中央交通五城目線を利用 下新城小学区から通学する児童は、基本的には、学校前で乗降する特発バスを利用するが、授業日程によっては、一般客も混乗する路線バスを活用する場合もある。	主に下新城中野地区、下新城長岡地区の多くの児童が、路線バスを使って金足西小に通学している。（保護者の判断で乗車） ※以前、下新城中野地区から下新城小へ運行していたバスについては、秋田中央交通で運行していたものであり、秋田市のスクールバスではない。	
13	普通教室として使用できる教室数	普通教室	6	6	現在の学習室、多目的教室、コンピュータ室などを普通教室へ転用可能である。
		特別支援教室	1	2	
		その他普通教室として使用可できる教室 （コンピュータ室、郷土資料室）	2	6 （学習準備室、はばたきルーム、コンピュータ室、生活科室、会議室、イングリッシュルーム）	
		計	9	14	
14	統合後の児童受入れ	令和8年度統合（9学級見込）	児童収容可能	児童収容可能	普通教室として使用可能な教室数を踏まえると、下新城小の場合は、特別支援学級が増加した場合、教室数が不足する可能性がある。
		令和10年度統合（7学級見込）	児童収容可能	児童収容可能	
15	最大通学距離および時間	約7km（金足岩瀬） 約15～25分	約9.6km（下新城岩城） 約20～30分	統合に伴い、通学距離や時間が長くなる児童には、スクールバスの運行が必要である。	
16	学校周辺の道路事情等	・現在も旧金足東小学区の児童が乗車したスクールバス（26人乗り直営マイクロバス）が乗り入れている。	・現在も秋田中央交通の路線バス（70人乗り大型バスもしくは50人乗り中型バス）が乗り入れており、広さが十分確保できている。	スクールバス運行にあたっては、学校周辺の道路事情や乗降場所などが課題となるが、校地の一部改修や新たな乗降場所を設置することで、対応が可能である。	
17	特色ある教育	・下小太鼓、ドリーム農園 ・ぶどう袋がけ など	・どじょっこふなっこの歌を楽しむ集い ・スポーツフェスティバル など	各校の特色ある教育や伝統文化については、統合校でも引き継ぎできるように、検討が必要である。	
18	児童室等について	・下新城児童室は、下新城小学校内に設置されている。 ・平日の平均利用者数は32人	・金足西児童館は、金足西小の敷地内に設置されている。 ・平日の平均利用者数は34人	児童室等は、1学校につき1施設を原則としているため、小学校統合後は、同様に統合を検討することとなる。	

※参考

児童数 R4.5.1現在	統合後			下新城小			金足西小				
	学年	人数	級数	学年	人数	級数	人/級	学年	人数	級数	人/級
R4.5.1現在	①	38	2	①	14	1	14.0	①	24	1	24.0
	②	34	1	②	16	1	16.0	②	18	1	18.0
	③	35	1	③	16	1	16.0	③	19	1	19.0
	④	35	1	④	15	1	15.0	④	20	1	20.0
	⑤	42	2	⑤	18	1	18.0	⑤	24	1	24.0
	⑥	46	2	⑥	16	1	16.0	⑥	30	1	30.0
	特別支援	5	2	特別支援	2	1	2.0	特別支援	3	2	1.5
	計	235	11	計	97	7		計	138	8	



跡地調査